

令和8年度
大学院連合教職実践研究科
学校臨床力高度化系
入学者選抜7月選抜
学力検査問題

専門科目：記述式総合問題

注 意 事 項

1. 問題冊子は監督者の指示があるまで開かないこと。
2. 問題冊子の科目名と受験票に記載してある科目名が、一致しているか確認すること。
3. 問題冊子は表紙を除いて1ページ、下書用紙は1ページ、解答用紙は4ページとなっている。
4. 問題冊子等の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び汚れ等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
5. 試験開始後、全ての解答用紙に必ず受験番号を記入すること。
6. 試験終了後、解答用紙は提出し、問題冊子は持ち帰ること。
7. その他については、監督者の指示に従うこと。

科目名	専門科目
-----	------

令和 8 年 度
 大学院連合教職実践研究科
 学校臨床力高度化系
 入学者選抜 7 月選抜
 試験 問 題

(1 枚の 1)

問 1. 次の用語群から五つを選んで、それぞれについて 100 字以内で説明しなさい。

学習指導要領	最近接発達領域	検定教科書
校則の見直し	いじめ	チーム学校
学び続ける教師	カリキュラム・マネジメント	

問 2.

令和 6 年 12 月 25 日に中央教育審議会諮問「初等中等教育における教育課程の基準等の在り方について」が出されました。諮問に基づいて文部科学省が作成した資料「諮問のポイント：概要版」では、「小学校 35 人学級における子供の多様性」として、以下のような五つの属性を持つ子どもたちがいることが示されています。学級には「日本語を家であまり話さない」子どもたちが 1.0 人、「家の蔵書数が少なく学力が低い傾向」にある子どもたちが 12.5 人、「特異な才能がある」子どもたちが 0.8 人、「学習面、行動面で困難を示す」子どもたちが 3.6 人、「不登校や不登校傾向」にある子どもたちが 4.8 人います。

(1)

「諮問のポイント：概要版」に示された五つの属性のうちから一つの属性を指定し、それらの属性を持つ子どもたちは学校教育の中でどのような課題に直面するか、そして彼らが直面する課題に対して学校教育はどのような個別的支援を行うべきかを 400 字以内で述べなさい。

(2)

「諮問のポイント：概要版」では、これらの多様な子どもたちが学級にいることを踏まえて、「多様性を包摂し、可能性を開花させる教育の必要性」を提起しています。こうした教育を行う上で、教師はどのような学級づくりを行うべきでしょうか。校種を指定した上で、あなたの考えを 400 字以内で述べなさい。